

令和元年度

事業報告書

(自平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

社会福祉法人 南部町社会福祉協議会

1. 法人運営事業

(1) 法人運営会議の開催

南部町社会福祉協議会の組織経営体制の強化のため、次の会議を開催した。

会議名	開催回数	開催月日
理事会	4回	〈第1回〉令和元年5月21日、〈第2回〉6月6日 〈第3回〉9月18日 〈第4回〉令和2年3月6日
評議員会	2回	〈第1回〉令和元年6月5日 〈第2回〉令和2年3月16日（書面会議）

(2) 監査会の開催

理事の業務執行状況・法人財産状況の監査会を実施した。

監査名	開催回数	開催日
中間監査会	1回	令和元年11月18日
決算監査会	1回	令和2年5月14日

(3) 委員会の開催

専門的事項について意見具申を求めるための委員会を開催した。

委員会名	開催回数	開催日
南部町共同募金運営委員会	3回	(第1回)令和元年5月21日 (第2回)令和元年9月18日 (第3回)令和2年3月6日
屋内ゲートボール場運営委員会	1回	令和元年5月15日

(4) 役員・評議員の研修会の実施

各研修会の参加と社会福祉法改正に伴う外部研修会に積極的に参加し、法改正について理解を深めた。

- ア) 市町村社協連絡会役員職員研修会 青森市（役職員6名）
- イ) 三戸郡社協役員・評議員研修会 田子町（役員・評議員12名）
- ウ) 第69回三戸郡社会福祉大会 三戸町（役員・評議員16名）
- エ) 第68回青森県社会福祉大会 青森市（役職員10名）

(5) 会費・会員の増強と財政基盤の強化

南部町行政員・町内会長の協力により、社会福祉協議会会費の徴収に努めた。

年度	住民会費	賛助会費	加入率	特別会費	合計額
平成27年度	5,396,000円	102,000円	71.8%	305,000円	5,803,000円
平成28年度	5,203,300円	104,000円	71.9%	395,000円	5,702,300円
平成29年度	5,115,900円	86,000円	69.3%	360,000円	5,561,900円
平成30年度	5,020,000円	94,000円	68.0%	450,000円	5,564,000円
令和元年度	4,952,700円	92,000円	66.0%	385,000円	5,429,700円

(※加入率＝会費納入者世帯数÷令和元年9月1日現在の南部町世帯数 7451/4920)

(6) 職員間の連携と組織の効率化

法人運営及び介護保険事業の幹部職員による、会議を毎月定期的で開催し、事業間の連携強化と職員の協力体制の構築に努めた。 (社協月例会議 12回 開催)

(7) 職員の自己研鑽と資質向上のための研修会開催

職員の資質向上を図るため、外部研修に積極的に参加して、その研修成果を事業内で発表・報告するとともに、職員のスキルアップの向上に努めた。

- ・全国研修 (2研修 2名参加) ・青森県主催 (1 1研修 1 3名参加)
 - ・町主催 (1 2研修 1 6名参加) ・県社協主催 (2研修 5名参加)
 - ・県共募主催 (1研修 1名参加) ・郡社協主催 (6研修 5 0名参加)
 - ・八戸市社協 (1研修 7名参加) ・他法人主催 (1研修 3名参加)
- 〈合計〉 36研修に延べ97名参加

(8) 屋内ゲートボール場「すぱーく名川」の運営事業の実施

生涯スポーツの振興や高齢者の生きがいとコミュニティづくりのため、安全かつ安心して利用することができるように施設の維持管理を実施した。

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	利用人員	時間	利用人員	時間	利用人員	時間	利用人員	時間	利用人員	時間
ゲートボール	623	256	1,036	243	1,047	220	709	238	444	213
グラウンドゴルフ	990	66	870	58	900	60	960	64	942	63
ペタンク	516	72	525	69	543	72	529	79	586	89
サッカー・フットサル	2,258	309	1,794	247	1,329	185	1,007	106	893	81
その他	1,340	75	1,500	80	1,505	80	2,010	82	733	37
減免対象者	6,427	412	5,218	354	3,878	291	3,903	318	2,694	319
合計	12,154	1,190	10,943	1,051	9,202	908	9,118	887	6,292	802
比較増減	840	17	△1,211	△139	△1,741	△143	△84	△21	△2,826	△85

(9) 指定管理事業

① 南部町名川老人福祉センター管理運営事業の実施

南部町名川老人福祉センターの運営管理業務の実施にあたり、「南部町老人福祉センター条例」並びに「条例施行規則」を遵守し、町民が安全かつ安心して利用が出来るよう、防犯・防災体制の万全を図り管理運営業務を実施した。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
稼働日数	312	※206	311	310	312
利用者数	6,079名	5,264名	6,136名	4,848名	4,159名

※浴室天井修理 (3ヵ月間)

② 南部町デイサービスセンター管理運営事業の実施

指定管理事業の実施にあたり、「条例」を遵守し、利用者が安全かつ安心して利用が出来るよう、防犯・防災体制の万全を図り管理運営業務を実施した。

(デイサービスセンターひろば)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
稼動日数	312日	312日	311日	310日	312日
利用者数	8,043名	8,685名	8,411名	8,481名	8,465名

(デイサービスセンターあじさい)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
稼動日数	364日	363日	363日	363日	364日
利用者数	9,479名	8,333名	6,719名	6,568名	7,006名

2. 地域福祉事業

(1) 日常生活自立支援事業の実施

高齢者や障がいがある方で判断能力の低下や、日常の金銭管理をうまく行えない方を対象に、福祉サービスの手続き代行や金銭管理などの支援を行い、利用者の在宅生活の援助に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
契約利用者数	9名	9名	13名	12名	13名
生活支援員数	6名	6名	6名	6名	6名
延べ支援回数		109回	144回	144回	172回

(2) ボランティア活動の振興

① ボランティアセンター設置事業の実施

ボランティア登録団体や個人に対して情報提供や連絡調整を行い、ボランティア活動の需要と供給のパイプ役としての中間支援に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
個人登録者	18名	20名	20名	20名	21名
登録団体数 (人数)	6団体 (248名)	6団体 (239名)	7団体 (207名)	8団体 (271名)	9団体 (290名)
ほのぼの協力員	396名	391名	370名	360名	313名
安心電話協力員	229名	184名	136名	137名	118名
除雪ボランティア	182名	206名	330名	352名	146名
福祉教育サポーター	18名	18名	18名	22名	22名

② 南部町ボランティアひろば〈第14回南部町社会福祉大会同日開催〉

- ・開催日 令和元年10月23日(水) 13:30～16:00
- ・会場 南部町立町民ホール「楽楽ホール」
- ・内容 団体活動紹介、作品展示、作成品紹介
(ボランティア団体—2団体、福祉団体—1団体 福祉施設—4施設)

③ ボランティア各種研修会の参加

ボランティア団体や個人登録者を各種ボランティア研修会に参加を募り活動の意欲につながるよう努めた。

④ ボランティア活動促進事業の実施

ボランティア保険加入に要する費用を助成して、安心して活動を行うことが出来る体制づくりに努めた。

(3) 心配ごと相談所開設事業の実施

日常生活におけるあらゆる悩みや心配ごとについて、毎週月曜日から金曜日、午前8時15分から午後5時まで、社会福祉協議会職員が相談に応じて、町民の心配ごとや悩みごとの解消に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談所開設日数	243日	246日	247日	247日	243日
相談件数	30件	17件	19件	17件	22件

(4) 緊急食糧提供事業の実施

赤い羽根共同募金配分事業により食料を準備して、緊急的対応として生活困窮者5世帯、7名に43日分の緊急食糧支援を提供した。

(5) 広報発行事業の実施

社会福祉協議会の広報誌を隔月に発行して、ボランティア活動を始め地域の福祉行事や活動を紹介し、町民に社会福祉の情報を提供し、啓発・宣伝に努めた。

情報紙発行名	発行回数	配布世帯等
社協情報紙「ふくしのはあと」	年6回	南部町内毎戸配布、関係機関団体

(6) 福祉フェスティバル事業の実施

第14回南部町社会福祉大会開催

- ・開催日 令和元年10月23日(水) 13:30～16:00
- ・会場 南部町立南部町民ホール「楽楽ホール」
- ・内容 大会式典、福祉関係者功労者表彰(10個人・6団体)
- ・福祉体験発表 「南部町立名久井小学校」の児童
- ・講演 生島 清身 (天神亭 きよ美) 氏

テーマ:「人生笑顔で!笑ンディングノート」～豊かな老後を迎えるために～

(7) たすけあい資金貸付事業の実施

低所得世帯の自立と生活意欲の助長促進を図るため、資金貸付の相談と償還指導を行った。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
貸付件数	0件	0件	0件	1件	0件
貸付金額	0円	0円	0円	50,000円	0円

(8) NHK地域歳末たすけあい配分事業

・各種団体の年末年始事業への配分

地域歳末たすけあい配分事業として、南部町ボランティアセンターに登録する団体からの申請により、年末・年始における交流事業に対して活動資金の配分事業を行った。（配分団体数2団体 ・配分金額54,000円）

(9) 福祉団体等の指導育成事業の実施

福祉団体の事務局を担当して、関係機関・団体との連携を図りながら、自主・自立活動の支援と運営の強化に努めた。

- ① 南部町民生委員児童委員協議会
(名川地区・南部地区・福地地区)
- ② 南部町老人クラブ連合会
- ③ 南部町身体障害者福祉会
- ④ 南部町遺族会
- ⑤ クレーンタートル

(10) 無料法律相談事業の実施

法律の専門家による無料法律相談所を開設して、町民の法的トラブルや悩みごとの解消に努めた。

- ・ 1回目 令和元年 8月20日(火) 13:30~15:30 〈ぼたんの里〉 相談3件
- ・ 2回目 令和元年10月29日(火) 13:30~15:30 〈健康センター〉 相談3件
- ・ 3回目 令和元年12月10日(火) 13:30~15:30 〈ゆとりあ〉 相談2件
- ・ 4回目 令和2年 2月18日(火) 13:30~15:30 〈健康センター〉 相談3件
- ・ (個別相談) 令和元年11月25日(月) 令和2年1月16日(木)
令和2年 2月27日(木) 3回実施 相談3件

(11) 生活福祉資金貸付事業の実施

青森県社会福祉協議会が実施している資金貸付の窓口として、低所得世帯・高齢者世帯・障がいを持つ方々の世帯を対象に相談と償還指導を行い、その世帯の自立支援に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
今年度貸付件数	2件	2件	1件	1件	0件
貸付金額	110,000円	40,000円	500,000円	247,000円	0円

(12) レクリエーション機器貸出事業

団体や施設、町内会、学校、幼稚園等のレクリエーション等に使用する各種機器を無料で貸出し交流会等の支援に努めた。

- ・ポップコーン機（6回） ・綿菓子機（7回） ・焼芋機（1回） ・ポン菓子機（1回）
- ・プロジェクター（5回） ・アンプ・マイク（3回） ・テント（3回）
- ・レクリエーションゲーム用品（42回）

3. 高齢者福祉事業

(1) 地域ふれあい交流会助成事業の実施

地域住民により編成されたグループ(町内会・ボランティアグループ等)が行う、地域の高齢者等を対象とした「地域ふれあい交流会」に助成金を交付して、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちになり暮らし高齢者の社会的孤立と孤独感の解消に努めた。

- ・地域ふれあい交流会開催回数 40回
- ・交流会参加者延べ人数 654名

(2) 福祉機器・介護用具貸付事業の実施

在宅の高齢者や障がいを持つ方々を対象に、ベッドや車いすを貸与して、要介護者とその家族の生活支援に努めた。（無料貸付）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ベッド貸出台数	22台	26台	11台	7台	9台
車いす貸出台数	40台	34台	35台	29台	24台

(3) 福祉機器整備事業の実施

車いすや特殊寝台の福祉機器を、町民に安全に利用していただくために、機器の修繕と保守管理を行った。

(4) 福祉洗濯サービス事業の実施

身寄りのないひとり暮らし高齢者等が医療機関に入院した際に、登録ボランティアが洗濯サービスを提供して、衛生面で安心して入院生活を送ることが出来るよう利用者の支援に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	4名	2名	1名	1名	1名
利用延べ回数	240回	105回	95回	93回	47回

(※利用料 60分以内 500円 60分以上 90分以内 1,000円)

(5) 在宅介護者交流事業の実施

在宅介護者を対象に「介護者交流の集い」を開催して、日常の介護の悩みごとの相談や心身の疲れを癒してもらい、介護者同志の交流を図る機会とした。

【1回目】令和元年 8月28日(金)開催場所「チェリウス」(参加者6名)

【2回目】令和2年 3月 3日(火)開催場所「五戸まきば温泉」

2回目は「新型コロナウイルス」感染防止のため中止とした

(6) 福祉コミュニティ活動推進事業の実施

① 要援護者世帯の除雪体制づくり (国土交通省補助金事業)

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障害者世帯を地域で見守る体制の構築のため、自力で除雪できない世帯へ町内会で除雪ボランティア活動の体制づくりを行ない、ボランティア活動保険加入や除雪対策会議に要する費用の助成、融雪剤、除雪用スコップを支給し地域コミュニティ活動の推進を図った。

(※活動町内数14町内・除雪対策会議開催10町内)

② サロン活動の開設

おらんど館において『お達者サロン』を運営した。

(7) ほのぼの交流協力員事業

①見守りネットワーク研修会の開催

『地域での見守り活動に必要な知識』～見守りから安全な地域づくりを推進するために～と題して、行政員・町内会長・民生委員・ほのぼの交流協力員が、見守りの大切さを認識する研修会を実施した。

(南部、名川、福地、各地区1回 計3回開催)

②ほのぼの交流協力員事業の実施

地域住民が主体となり、「見守り」と「たすけあい」の活動を推進し、地区ほのぼの交流協力員との情報交換を通して、地域の現状を把握することに努めた。

ほのぼの交流協力員配置数	見守り対象世帯数
313人(前年度比47名減)	494世帯(前年度比16世帯増)

(8) 軽度生活援助事業の実施

在宅の一人暮らし高齢者等を対象に、訪問介護員が掃除、洗濯、調理、買物等の家事援助サービスを行い、自立した日常生活の継続と要介護状態への進行防止に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録者数	19名	13名	3名	1名	1名
延べ利用回数	451回	500回	112回	50回	52回

(9) 高齢者配食サービス事業及び「食」の自立支援事業の実施

調理が困難な高齢者及び障がいを持つ方々を対象に、366日体制により昼食と夕食を利用者宅に届け、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認と健康状態の把握に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録者数	34名	39名	46名	49名	50名
延べ配食数	7,468食	10,103食	10,862食	12,312食	12,470食

(10) 緊急通報体制等整備事業の実施（福祉安心電話サービス事業）

ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯・障がいを持つ方々を対象に、福祉安心電話を設置して、緊急時の連絡体制づくりと、孤独感の解消に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入会済世帯数	81世帯	78世帯	77世帯	74世帯	61世帯
入会世帯数	5世帯	7世帯	7世帯	1世帯	2世帯
退会世帯数	8世帯	8世帯	10世帯	14世帯	14世帯
入会世帯合計	78世帯	77世帯	74世帯	61世帯	49世帯

(11) 在宅介護支援センター事業の実施

在宅の高齢者や要介護者、家族等の在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、地域を巡回しながら訪問指導活動を行った。

- ① 地域包括支援センターブランチ型総合相談窓口業務 相談件数924件
- ② 高齢者実態把握業務 355人
- ③ 介護予防出前講座 9地区 9日間 参加者延べ57名
(新型コロナウイルス感染防止対策のため1地区中止)

(12) 外出支援サービス事業の実施

在宅の寝たきり高齢者等で、一般の公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、移送用車両により医療機関の受診や入退院時の送迎サービスを提供して、利用者とその家族の身体的・精神的な負担軽減に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録者数	72名	84名	87名	75名	72名
延べ利用回数	411回	552回	683回	636回	661回

4. 児 童 福 祉 事 業

(1) 福祉の心を育む事業の実施

小・中校及び高等学校に出向いて、福祉講座や福祉体験学習を開催し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を深め社会奉仕活動の高揚に努めた。

プログラム名	小学校	中学校	高校	合計
高齢者疑似体験	2回	1回		3回
福祉施設訪問・交流	2回			2回
車いす体験(屋内・屋外)	1回			1回
手話体験	1回	1回		2回
点字体験	4回			4回
盲動犬を知る	6回			6回
昔の遊び交流	2回			2回
心の健康教室	5回			5回
障がい者スポーツレクリエーション	2回			2回
合 計	25回	2回	0回	27回

(延べ参加者数 526名)

(2) 子育て支援事業の実施

① 口腔ケア教室

子どもの健やかな成長に重要な役割を果たす歯の健康づくりのため、保健師、歯科衛生士による口腔ケア教室を開催した。

開催日時	対 象	参加人数
令和元年6月11日(火)	福地保育園	66名
令和元年6月12日(水)	なんぶ保育園	46名
令和元年6月19日(水)	チェリー保育園	68名
令和元年6月19日(水)	あかね幼稚園	75名
令和元年10月4日(金)	名川南小学校	25名
計5日間	5	280名

② 子育て応援育児用品貸出事業

子育て支援の一環で、乳幼児の保護者に育児用品を貸し出し、子育て中の保護者に係る経済的な負担軽減を図り、次世代を担う子ども達の健やかな成長を支援した。

貸出品名	(延べ)貸出件数	保有台数
チャイルドシート	65台	40台
ベビーカー	7台	7台
ベビーラック	10台	8台

ベビーチェア	1台	1台
バウンサー	0台	2台
ベビーベット	6台	4台
歩行器	1台	1台
ベビーバス	1台	1台
計	延べ91台	

5. 障がい者福祉サービス事業

(1) 障がい者移動支援事業の実施

在宅の障がいをもつ方々が医療機関の入退院や通院するため、移送用車両により移送サービスを実施することにより、利用者とその家族の支援に努めた。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録者数	8名	6名	8名	7名	9名
延べ利用回数	227回	257回	216回	321回	361回

(2) 障がい者居宅介護事業の実施 (障がい者ヘルパー事業)

在宅の障がいを持つ方々が自立した生活を営むことが出来るよう、ヘルパーが身体介護・生活援助等、生活全般にわたるサービスを提供することにより、利用者の在宅生活における自立支援に努めた。

事業所名	南部社協ヘルパーセンター				
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	5名	5名	6名	8名	9名
延べ利用回数	1,499回	1,566回	741回	1,705回	2,372回

(3) 障がい者生活介護サービス事業の実施 (障がい者デイサービス事業)

在宅の障がいを持つ方々が自立した生活を営むことが出来るよう、デイサービスセンターひろばにおいて、入浴・トイレ介助・食事介助等の日中活動のサービスを提供することにより、在宅生活における自立の支援に努めた。

事業所名	デイサービスセンターひろば				
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	2名	2名	4名	4名	4名
延べ利用回数	199回	199回	173回	280回	284回

6. 介護サービス事業

(1) 訪問介護事業の実施 (ホームヘルプサービス事業)

在宅の高齢者が自立した生活を営むことが出来るよう、ヘルパーが身体介護・生活援助等生活全般にわたるサービスを、366日体制により提供した。

事業所名	南部社協ヘルパーセンター				
年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ利用者数	1,009 名	867 名	825 名	763 名	688 名

(2) 通所介護事業の実施 (デイサービス事業)

要支援・要介護状態の方を対象に、デイサービスセンターに送迎して、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを実施して、楽しく1日を過ごしてもらい、心身の向上に努めた。

事業所名	デイサービスセンターひろば				
年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ利用者数	8,043 名	8,685 名	8,411 名	8,481 名	8,488 名

事業所名	デイサービスセンターあじさい				
年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ利用者数	9,479 名	8,333 名	6,719 名	6,568 名	7,006 名

(3) 居宅介護支援事業の実施

要介護者・要支援者が介護保険サービスを利用するため相談や介護計画の作成と管理運営を行い、総合的かつ効果的に福祉サービスが利用出来るように支援した。

事業所名	南部社協ケアプランセンター				
年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
要介護利用者数	2,777 名	2,632 名	2,494 名	2,379 名	2,348 名
認定調査数	—	—	165 名	155 名	156 名
介護予防利用者数	—	—	398 名	221 名	202 名
予防マネジメント数	—	—	133 名	277 名	315 名

(予防マネジメント数は平成29年4月に改正により受託する)

(4) 実習生・職場体験受け入れ実施

福祉人材育成として、社会福祉を専攻している学生及び社会人等を対象に、職場体験及び社会福祉に関する資格取得のため、介護実習生の受け入れを行った。

訪問介護実習

受入事業所	実習延日数	実習生人数	実習延時間
南部社協ヘルパーセンター	4日間	2名	32時間
八戸社会福祉専門学校による生徒の実習受入			

通所介護実習

受入事業所	実習延日数	実習生人数	実習延時間
デイサービス ひろば	5日間	1名	40時間
八戸社会福祉専門学校生による実習			
デイサービス あじさい	5日間	1名	40時間
小学校及び中学校の教諭の普通免許状に係る介護体験の実習（弘前学院大学）			

(5) 災害非常時の体制強化

①防災訓練

町の防災訓練に参加し、南部地区民生児童委員と社協職員の連携により、「災害ボランティアセンター開設設置訓練」を実施した。

②災害対策

令和元年10月10日（木）～13日（日）対策本部を立ち上げ、19号の接近に対し『社協災害対策会議』を計4回開催。

10月13日（日）馬淵川氾濫の恐れがあった為、デイサービスセンターあじさいを中止し、前日安全な場所へ車両を移動し、当日全職員を自宅待機としあじさいデイ出勤者（正職員）と居宅の所長・主任を2名体制にてヘルパーの同行訪問と配食サービスの提供を行った。

③新型コロナウイルス感染症対策

令和2年3月18日（水）の月例会において第1回新型コロナウイルス感染症対策会議を行う。

- ・「ご利用者様及びご家族様へ感染予防徹底のお願い」とし文書送付する。
- ・「職員対象に感染防止等の徹底について」の文書を作成し回覧する。